

15-03-23

## 2015 年度 設備投資計画

～ 鉄道事業を中心に総額 18,943 百万円 ～

### < 主な投資項目 >

旅客安全・運転保安工事の推進・継続  
一部特別車特急車両 2200 系や通勤型車両など計 20 両新造  
栄生駅をはじめとした駅施設改良

名古屋鉄道では、「名鉄グループ中期経営計画～PLAN123～」(2015 年度～2017 年度)に基づき、同計画の基本方針である『「積極的な事業展開」と「強固な経営基盤の確立」』などの実現に向け、2015 年度設備投資計画をまとめました。

来年度の主な投資として、例年に引き続き、ATS(自動列車停止装置)などの安全設備の新設や更新、土木・電気施設の改良、高架化の推進、車両の改良など、安全対策の更なる充実を図る投資を推進していきます。

また、サービス改善工事として、名古屋本線を中心とした路線において車両の充実を図るため、一部特別車特急車両 2200 系の車両を 12 両(6 両組成×2 編成)、通勤型車両 3150 系の車両を 4 両(2 両組成×2 編成)、3300 系の車両を 4 両(4 両組成×1 編成)の計 20 両の新造、一部特別車特急車両 1200 系のリニューアルを行います。そのほか、名鉄病院新 1 号館建設に伴う栄生駅の駅施設改良工事を実施します。

来年度の設備投資額は、鉄道事業においては、旅客安全・運転保安工事の推進・継続など今年度比 16.5%増となります。また、開発事業においては、収益力の底上げを目的とする戦略投資の実施など今年度比 195.4%増、その他においては、名駅再開発の具体化に向けた全体計画の作成など今年度比 291.3%増を計画しております。以上の結果、全体では今年度比 64.8%増の 18,943 百万円となります。

事業別設備投資計画額の対前年比較は以下のとおりです。

< 事業別設備投資計画額内訳 >

(金額単位 百万円、税抜き、単位未満切捨て)

事業	2015 年度	2014 年度	前年との差額	増減率	(参考)2013 年度
鉄道事業	9,927	8,519	1,408	16.5%	9,000
開発事業	8,052	2,725	5,327	195.4%	1,766
その他	963	246	717	291.3%	609
総額	18,943	11,491	7,452	64.8%	11,376

---

## 鉄道事業 [ 9 , 9 2 7 百万円 ]

---

鉄道事業では、車両の改良、踏切保安設備や土木・電気設備の改良など旅客安全・運転保安工事に5,641百万円、一部特別車特急車両2200系や通勤型車両(計20両)の新造、一部特別車特急車両1200系のリニューアル、駅改良など、サービス改善工事に4,286百万円の計9,927百万円を投資します。

### 1 旅客安全・運転保安工事(5,641百万円)

#### (1) 安全・保安対策

踏切・分岐用のATS(自動列車停止装置)を竹鼻線などの8駅に設置します。また、ホーム転落対策として、列車の乗務員に異常を知らせる列車非常通報装置やATSを豊田線の梅坪駅、上豊田駅、三好ヶ丘駅、黒笹駅、米野木駅、日進駅に設置します。

#### (2) 耐震補強の推進

大規模地震による被害を最小限に抑えるため、高架橋柱などの耐震補強を味鏡高架橋、細畑高架橋、堀田高架橋及び豊田本町高架橋などで実施します。

#### (3) 踏切道保安設備の新設・改良

踏切道の保安対策として、踏切障害物検知装置の設置(1カ所)、踏切道の非常ボタンの設置(20カ所)などを行います。

#### (4) 車両の改良

ホームから車両連結部への転落防止を図るため、固定連結部の車体側面に連結面転落防止幌を21連結面に設置します。

三河線で運行している6000系ワンマン車両の大規模修繕を4両(2両組成×2編成)で実施し、バリアフリー適合化・客室環境改善・車両延命化を図ります。

#### (5) 土木施設の改良

列車の乗り心地を向上するため、まくらぎのPC化(瀬戸線・西尾線の延べ約4.6km)及び分岐器の弾性化(西枇杷島駅2基・伊奈駅2基)を実施します。

列車走行音や振動を軽減するため、ロングレール化工事を名古屋本線 左京山駅～有松駅間の延べ約1.0km 犬山線 江南～柏森駅間の延べ約0.5kmでそれぞれ実施します。

#### (6) 電気施設の改良

異常時対応力の強化を目的として、電力管理システムを更新するとともに、電気指令を移転します。運転指令との連携を強化して、復旧時間の短縮とお客さまへの早期情報提供を図ります。

安定した電力供給を図るため、沿線各所で電力設備の更新、き電線の増強・改良などを実施するほか、北新川変電所の改良を行います。

## (7) 高架化

安全対策の推進と都市計画事業の一環として、3カ所で高架化工事を実施します。

	路線名	区間	距離
知立駅付近 高架化工事	名古屋本線	一ツ木駅～牛田駅間	1.6km
	三河線	重原駅～三河八橋駅間	2.7km
喜多山駅付近 高架化工事	瀬戸線	小幡駅～大森・金城学院前駅間	1.9km
布袋駅付近 高架化工事	犬山線	石仏駅～江南駅間	1.8km

## 2 サービス改善工事(4,286 百万円)

### (1) 車両の新造

一部特別車特急車両 2200 系の車両を 12 両(6 両組成×2 編成)新造します。なお、外観デザインを一部変更します。



2200 系(イメージ)

通勤型車両として 3150 系の車両を 4 両(2 両組成×2 編成)、3300 系の車両を 4 両(4 両組成×1 編成)新造します。なお、外観デザインを一部変更します。



3150 系・3300 系(イメージ)

### (2) 一部特別車特急車両 1200 系のリニューアル

一部特別車特急車両 1200 系のリニューアルを 18 両(6 両組成×3 編成)で実施し、車内環境の刷新(トイレの洋式化・座席の更新など)および外観デザインの変更を実施します。



1200 系外観(イメージ)



特別車座席(イメージ)



トイレ周り(イメージ)

(3) 主な駅改良工事

名古屋本線・栄生駅改良工事

栄生駅(名古屋市西区栄生二丁目5番地11)を名鉄病院新1号館建設に伴い、病院口改札のリニューアル及びホーム嵩上げ・上家改良、行先表示器の更新を行います。

そのほか名古屋本線・新木曾川駅(一宮市木曾川町黒田三ノ通り203番地)の駅改良工事及び駅舎老朽化に伴う三河線・高浜港駅(高浜市青木町六丁目3番地1)の駅舎建て替えなどを行います。

(4) 自動改札機のICカード対応化

お客様の利便性向上のため、名鉄岐阜駅、新木曾川駅、名鉄一宮駅、名鉄名古屋駅、鳴海駅、前後駅、知多半田駅、犬山駅、尾張瀬戸駅、小幡駅のICカード非対応の自動改札機(13台)で、manacaなどICカードをご利用いただけるよう改良します。

---

## 開発事業 [ 8 , 0 5 2 百万円 ]

---

「名鉄グループ中期経営計画～PLAN123～」に基づき、更なる企業価値の向上・財務体質の強化を目的として、収益力の底上げを図る戦略投資を新たに設け、岩倉駅前に賃貸マンションを建設するほか、当社沿線地域における賃貸物件の開発や取得などを検討します。

神宮前駅東口再開発に伴う施設整備を進めるほか、既存の保有施設(沿線の商業施設・テナントビルなど)の改修や設備更新を実施いたします。



【仮称】岩倉賃貸マンション(イメージ)

---

## その他 [ 9 6 3 百万円 ]

---

名駅再開発の具体化に向けた全体計画の作成や、関連する計画検討の推進を図ります。

IT 機器・システム更新などを図ります。

名古屋鉄道を含む 2015 年度の名鉄グループ設備投資計画額は、52,787 百万円。  
(2014 年度同計画額 39,700 百万円 前年との差額 + 13,086 百万円 増減率 + 32.9%)

以 上